

学校運営協議会議事録

校名	府立阪南高校学校
校長名	稲田 淳子

開催日時	令和7年2月21日(金)15:30～17:00
開催場所	本校 校長室および校内
出席者(委員)	千葉 一夫委員長、撫 俊男副委員長、松村 隆委員(欠)
	小嶋 憲子委員、重安 美織委員、松本 幸治委員
協議資料	次第・令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)・令和7年度学校経営計画(案)
備考	

議題等(次第順)

協議
(1) 令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)
(2) 令和7年度学校経営計画(案)

協議内容・承認事項等(意見の概要)

<p>○協議</p> <p>(1)</p> <p>学校教育自己診断(以下、自己診断とする)の生徒評価「1人1台端末を活用している」は94.1%と高い値。 →毎回必ず使っているわけではないようだが、中学校よりはよく活用しているように感じる。 自己診断の保護者評価「阪南高校に入学させてよかった」が90.4%と高い値を維持。 →自己診断では具体を聞くには至っていないのであれば、なぜそう評価してもらえているか、を具体的に把握することも必要ではないか。 さらなる阪南高校の活性化や魅力化づくりに資すると考える。 自己診断の保護者評価「学校に気軽に相談できる先生がいる」が56.4%と前年よりは上昇するも比較的低い値。 →保護者がこどもから学校のことを聞く機会が減っていることが一因かも。引き続き教員には、気軽に相談していいよとの姿勢も保っていただければよいと思う。教職員の相談体制の強化については肯定率が上昇しているの、校内体制は改善していると思う。 今後さらに個別の相談体制の充実や、情報発信をとおして、保護者・生徒に対しぜひアピールいただきたい。 自己診断・教職員評価「いじめ対応」は85.4%と高い値。 →いじめに対する学校の取り組み姿勢が表れている。いじめゼロであることは理想だが、「いじめ見逃しゼロ」を掲げ、教職員で取り組んでいることがよく伝わった。教育相談や生徒指導の両輪で、引き続き生徒の指導・支援をお願いする。 授業アンケート「生徒理解」は未達とはなっているが、おおむね達成ではある。引き続き改善に努めていく。 →自己診断・教職員評価「授業改善」の数値も大きく向上。授業アンケートもそもそも高い。また授業見学もしたが、生徒はしっかり取り組んでいた。自然発生的に質問・教えあうなど、生徒の学習に対する意欲もみとることができた。教員との関係も良好。 勉強するぞ、という気持ちが育まれていることが感じられる。引き続き、さらなる授業改善に取り組んでいただきたい。 教員の月平均残業時間(12月末時点)で、25.1H(昨年度24.9H)と横ばい。部活動が熱心な先生も多く、なかなか縮減に至っていない。 →縮減の取組みを行っていただいていること、また部活動などに頑張っていただいている先生にも感謝。一方で、活動の充実と時間の削減は相反する部分もあるだろう。分担を工夫するなど、引き続きの取組みをお願いする。</p> <p>(2)</p> <p>令和6年度からの主な変更点について協議。 放課後や家庭での学習時間 平日30分以上を掲げる。現状の分析では、平均15～16分。実際は0分の生徒が多いよう。 自学自習をする力や姿勢を育成するためにも、この目標を掲げる。またあわせて組織的な講習の実施も目標と掲げた。 →ぜひともお願いしたい。家庭での学習は正直ほとんどしていないように感じる(長期休みの課題はやっているようだが)。 しっかりとした学力をつけていくために、さまざまなで、授業以外の学習時間の確保を行ってほしい。組織的に取り組みもお願いする。</p> <p>令和6年度学校経営計画及び学校評価(案)・令和7年度学校経営計画(案)ともに承認された。</p>

次回の会議日程

日時	令和7年 月 日()
会場	府立阪南高等学校 校長室